

朝日カルチャー 野外の自然観察 「豊前市・求菩提山」

～秋の野草と紅葉を訪ねて～

2019.11.15

素晴らしい秋晴れに恵まれ、英彦山と並ぶ修験の山として名高い、霊峰求菩提山周辺を参加者 15 名(ほか事務局 1 名)で散策しました。

今回は久々のバスハイクで、行く機会の少ない晩秋の豊前路を歩いていただきました。暖冬のせいで、紅葉が遅れて少々心配しましたが、数日前から急に冷え込み、無事紅葉を鑑賞することが出来ました。

求菩提資料館前バス停を起点に、求菩提山登山道中途の安浄寺跡までを往復しました。

途中の座主園地では、目的のイロハモミジの紅葉が美しく、秋晴れに透けるカエデの葉の美しさはまた格別でした。樹下では、ボランティアのグループが弁当を広げ、紅葉狩りをされており、うらやましい限りでした。

また一軒のみ現存する文化財の「坊」を見学し、坊周辺に植栽されているミツマタに、多くの蕾を確認しました。来春が楽しみです。

県指定天然記念物ヒメシャガは、シカ対策のため保護区画内で栽培されており、皆さんにシカ害の深刻さを理解していただきました。

昼食は、近くの「ト仙の郷温泉」にて刺身定食を満喫し、晩秋の山里の原風景に浸って、いとよきのゆったりとした時間を過ごしました。

昼食後は、求菩提資料館にて、学芸員さんから詳しい説明をしていただき、山岳宗教・山伏の生活などのイメージを深めることが出来ました。

周辺に植栽されているツクシシャクナゲも多くの蕾を付けており、5月の開花時が待たれます。

散策路に石段が多かったせいか、少々お疲れ気味の方もおられたようですが、帰路は豊前市道の駅「おこしかけ」で元気に買い物をされて帰路に就かれました。

花の時期に再度来ていただくと、また素晴らしい自然を楽しんでいただけるかと思います。

スタッフ 手寫、戸町 (文責：手寫)

